

R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	全国学調の質問紙において、「地域の行事に参加している」という設問の回答が、小学校では90%台から80%台へと減少傾向にあり、中学校では50%台と低迷している。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という設問も小学校で70%台、中学校で50%台である。このように、小中学生の地域とのかかわりについて課題がある。	地域コーディネーター2名のうち、1名が町内2小学校1中学校のコーディネートを担い、地域ボランティアやゲストティーチャーの活用促進を図る。また、コミュニティスクールと地域学校協働本部との有機的な連携を図っていく。	各学校において地域に出る活動や地域の人と関わる活動の促進はもちろん、地域における活動についても地域ボランティアの参画により、子どもたちと地域の人とがふれあう機会を増やし、子どもたちの地域に対する意識を高めていく。そのことにより、地域による教育活動への参画が図られ、教員の負担軽減にもつなげていく。	全国学調の質問紙における、①「地域の行事に参加している」②「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」という設問の肯定的回答の割合(小・中平均値)	①68.6 ②63.5	%	①70 ②65	①68.7 ②79.7	3 町内各学校において、地域に出る活動や地域の人と関わる活動の促進はもとより、地域における活動についても地域ボランティアの参画により、子ども達と地域の人とが触れ合う機会を増やし、子ども達の地域に対する意識を高めることができた。そのことにより、地域による教育活動への参画が図られ、教員の負担軽減にもつなげている。全国学力等調査において、①について肯定的に回答した児童は90%と高いが、中学校になると、40%台に低くなってしまふ。②に対する肯定的な回答は、目標よりも高くなっている。地域についてさらに学習を深めていくだけでなく、学習活動を終えての振り返りなどで自分の考えをまとめていく取り組みも深めていくことが大切であるとする。